

平成27年度

千葉県文化財技術職員採用選考考査 受験案内

受付期間 平成27年7月6日(月)～平成27年7月27日(月)

1次選考 平成27年8月20日(木)

2次選考 平成27年10月8日(木) (予定)

千葉県教育委員会

1 選考職種、採用予定人員、職務内容

職 種	専門分野	採用予定 人員	職 務 内 容
文化財 技 術	埋 蔵 系	2名	文化財課等において、埋蔵文化財の発掘調査、 遺物整理業務及び調査研究、教育普及その他専 門的業務に従事します。(※1)
	民 俗 系	1名	博物館等において、資料の収集、保管、展示及 び調査研究、教育普及その他専門的業務に従事 します。(※2)
	自然系(哺乳類)	1名	

※1 博物館等の教育機関、教育委員会事務局等に勤務する場合があります。

※2 博物館以外の教育機関、教育委員会事務局等に勤務する場合があります。

2 受験資格

職種	専門分野	受 験 資 格
文化財 技 術	埋蔵系	次のいずれにも該当する者 ① 昭和55年4月2日以降に生まれた者で、大学又は大学院で史学、考古学、人文学、若しくはこれに類する課程を専攻し、卒業(修了)した者又は平成28年3月までに卒業(修了)見込みの者 ② 博物館法に基づく学芸員資格取得者又は平成28年3月までに取得が見込まれる者 ③ 日本国籍を有する者 ④ 地方公務員法第16条に該当しない者(※3)
	民俗系	次のいずれにも該当する者 ① 昭和55年4月2日以降に生まれた者で、大学又は大学院を卒業(修了)した者又は平成28年3月までに卒業(修了)見込みの者 ② 博物館法に基づく学芸員資格取得者又は平成28年3月までに取得が見込まれる者 ③ 日本国籍を有する者 ④ 地方公務員法第16条に該当しない者(※3)
	自然系 (哺乳類)	次のいずれにも該当する者 ① 昭和55年4月2日以降に生まれた者で、大学院修士課程又は博士課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者 ② 博物館法に基づく学芸員資格取得者又は平成28年3月までに取得が見込まれる者 ③ 日本国籍を有する者 ④ 地方公務員法第16条に該当しない者(※3)

※3 地方公務員法第16条（欠格条項）

- ・ 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
- ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 千葉県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 受験手続

次のアからエまでの書類（全員が提出する必要がある書類。）に加え、埋蔵系受験者についてはオを、民俗系受験者についてはカを、自然系受験者についてはキの書類を、「12 問い合わせ、書類提出先」に記載する書類提出先へ特定記録郵便で郵送するか又は直接持参してください（前記によらない場合の事故については、一切責任を負いません。）。

【受験者全員が提出する必要がある書類】

- ア 応募申込書（別紙1）
 - イ 受験票（別紙2）
 - ウ 写真2枚（応募前6ヶ月以内に撮った縦4cm、横3cmで、上半身、脱帽、正面向き、無背景のもので、本人と確認できるものを応募申込書、受験票にそれぞれ貼付する。）
 - エ 受験票返信用封筒（長形3号、82円分の切手を貼り付けて、宛先を明記したもの。）
- ※ 返信用封筒の切手が料金不足の場合、返送されない場合があります。

【埋蔵系受験者のみが提出する書類】

- オ 発掘調査研究業績調書（別紙3-1及び3-2）

【民俗系受験者のみが提出する書類】

- カ 民俗調査研究業績調書（別紙4-1及び4-2）

【自然系（哺乳類）受験者のみが提出する書類】

- キ 業績目録（査読論文、総説、著書、その他の分類に分けて記載する。）及びそのうち主要なもの3点以内の別刷り又はコピー
- ※ 提出書類については、選考の合否にかかわらず返却しません。

4 受付期間

平成27年7月6日（月）から平成27年7月27日（月）まで

- ※ 直接持参の場合の受付時間は、土日祝日を除く午前9時から午後5時までです。
- ※ 郵送の場合は、平成27年7月27日（月）までの消印があるものに限りです。

5 1次選考の日時及び場所

日 時	場 所
平成27年8月20日（木） 受付 午前8時30分 ～ 8時45分 開始 午前9時00分 終了 午後1時00分（予定）	千葉市内 （詳細は、後日送付する採用選考考査の実施通知によりお知らせします。）

- ※ 2次選考は、平成27年10月8日（木）に千葉市内で実施する予定ですが、変更となる場合もあります。詳細は、1次選考の合格者に通知します。

6 考査の方法

区分	考査方法		内 容
1 次選考	教養考査	択一式 (120分)	公務員として必要な一般的な知識及び知能についての大学卒業程度の筆記考査
	専門考査	記述式 (90分)	採用職種に関する専門的知識・技能・能力についての筆記考査
2 次選考	人物考査	口述考査	主として人柄、性向等についての個別面接による考査
		適性検査	職員として職務遂行上必要な素質・性格についての検査(質問紙法及び作業検査法)
	身体検査		健康状態についての申告書(様式指定・受験者本人が記入)に基づく検査(1次考査合格者に用紙を配布)

※ 各考査方法には一定の基準があり、基準に達しない考査方法が一つでもある場合、不合格になります。

※ 考査方法のうち、棄権したものが一つでもある場合には、他の考査方法についても採点を行いません。

※ 提出された書類は、2次選考(口述考査)の資料とします。

7 合否の発表

区 分	期 日	方 法
1 次選考合格者発表	9 月中旬	受験者全員に通知します
最終合格者発表	11 月上旬	

1 次選考の合格者には、2 次選考の詳細について通知します。

なお、最終合格者には、身体検査書(様式指定・医療機関等で受検。)を提出していただきます。検査の結果、心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えないことが明らかとなった場合には、採用されないことがあります。

8 採 用

採用は平成28年4月1日の予定です。

9 給 与

平成27年4月1日現在の初任給(地域手当7.5%を含む。)は、研究職給料表適用の場合、大学卒で214,032円、大学院(修士)修了で233,275円、大学院(博士)修了で266,922円です。行政職給料表適用の場合、大学卒で196,510円、大学院(修士)修了で210,162円、大学院(博士)修了で226,610円です。

なお、一定の職歴等を有する者には、上記金額にその経歴に応じて所定の金額が加算されます。また、上記のほか、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。

10 勤務時間・休暇

(1) 勤務時間

原則として週38時間45分、1日7時間45分(週休2日制)、交替制勤務あり

※埋蔵系の職員は、基本的に、土曜日、日曜日が週休日となります。

(2) 有給休暇

年次休暇 年間20日

特別休暇 結婚、忌引等

1 1 考査成績

(1) 口頭による開示請求

この考査の成績については、千葉県個人情報保護条例に基づき口頭により開示請求することができます（下表参照）。なお、電話や郵便等による請求では開示できませんので、開示請求するときは、本人と確認できる書類（運転免許証、身分証明書等、顔写真付きのもの。）を持参の上、必ず受験者本人が直接おいでください。

請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
1 次 選 考 不 合 格 者	・ 1 次選考の考査方法別得点 ・ 得点が基準に達しなかった考査方法がある場合は当該考査方法	1 次 選 考 合 格 発表から 1 か月	千 葉 県 人事委員会事務局 任 用 課
1 次 選 考 合 格 者	・ 1 次選考の考査方法別得点及び 2 次選考の考査方法別得点 ・ 得点が基準に達しなかった考査方法がある場合は当該考査方法	最 終 合 格 発 表 から 1 か月	〔 土日祝除く 〕 9:00～17:00

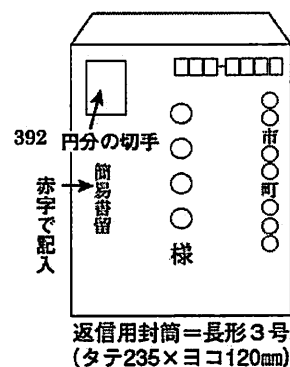
(2) 郵送による成績通知

郵送でも考査成績の情報を提供します。住所・氏名を記載した封筒（長形 3 号）を用意し、392 円分（簡易書留相当分を含む）の切手を貼り付けて（右図参照）、1 次選考時に持参してください。提供する内容は（1）の口頭による開示請求と同じです。

〔注〕 1 郵送による成績通知は、1 次選考日のみ受け付けます。

受験手続時には受け付けませんので、御注意ください。また、考査当日に封筒を忘れた場合は、（1）の口頭による開示請求を行ってください。

2 通知する時期は、1 次考査不合格者については 1 次考査合格発表日以降、1 次考査合格者については最終合格発表日以降の予定です。



1 2 問い合わせ、書類提出先

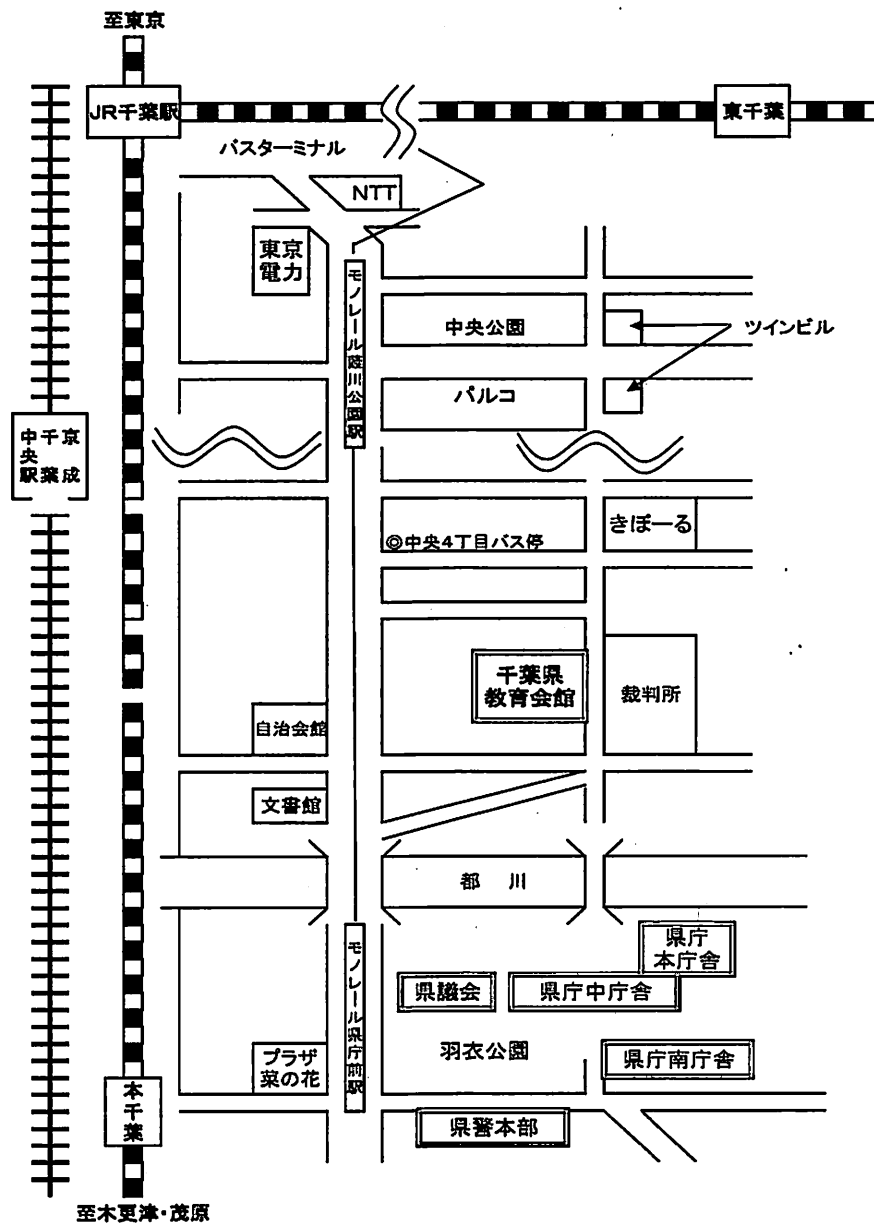
受験手続その他この考査についての問い合わせ及び受験関係書類の提出は、下記にお願いします。

書 類 の 提 出 先		
住 所	提出先の部課名	直通電話
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1	千葉県教育庁企画管理部教育総務課 人事給与室人事班	043(223)4142

※ 提出書類は封筒に入れ、封筒表に「文化財技術職員（埋蔵系・民俗系・自然系）申込」と朱書きし、裏面に住所、氏名を必ず記載してください。

※ 受験票が 8 月 12 日（水）までに到着しないときは、上記まで照会してください。

13 受験会場（予定）案内図【千葉県庁・千葉県教育会館】



※ 考查会場（予定）である千葉県教育会館に、この考查についての問い合わせはしないでください。

別紙 1

平成27年度千葉県文化財技術職員採用選考考査 応募申込書

(表)

ふりがな 氏 名	生年月日		年 月 日		性別	
	年齢		歳 (平成27年4月1日現在)			
受験希望 職種・分野 (該当分野に☑)	☐ 文化財技術 埋蔵系 ☐ 文化財技術 民俗系 ☐ 文化財技術 自然系 (哺乳類)		国籍 (○で囲む)	日 本 その他	受験番号 (記入不要)	
					写真貼付欄 ・6ヶ月以内に撮影したもの。 ・上半身、正面向、脱帽、無背景のもので、本人と確認できるもの。 ・写真の裏に氏名を記入すること。 ・サイズは縦4cm×横3cm。	
現住所	(〒)					
	TEL					
連絡先	(〒)					
	TEL					
学 歴 (高等学校以上について、直近のものから記載。)	学校名 (学部・学科等)		在学期間		卒業・修了・見込 中退等の区分	
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
職 歴 (現職を含め、直近のものから記載。)	勤務先	職務内容	在職期間		備考 (正規・非正規等)	
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
			年 月～ 年 月			
資格・免許 (取得年月日、見込みの場合は、その旨を記載。)						

(裏)

印

応募申込書は、両面印刷（片面印刷の場合は、表面と裏面を貼り合わせる）1枚で提出してください。

※ 点線に沿って切り取り、提出してください。

平成 2 7 年度
千葉県文化財技術職員採用選考考査

受 験 票

受験専門分野 (該当分野に☑)	☐ 埋蔵系 ☐ 民俗系 ☐ 自然系 (哺乳類)	受験番号
		※ 記入不要
ふりがな 氏 名		写真貼付欄 ・ 6 ヶ月以内に撮影したもの。 ・ 上半身、正面向、脱帽、無背景のもので、本人と確認できるもの。 ・ 写真の裏に氏名を記入すること。 ・ サイズは縦 4 cm × 横 3 cm。
性 別		
生年月日	年 月 日	

留意事項

- 1 この受験票は、選考当日に持参してください。
- 2 この受験票は、2 次選考の際にも使用します。

発掘調査研究業績調書

氏名 _____

1 発掘調査歴

No.	従事期間	都道府県・市町村名及び 遺跡名	調査機関名	従事の職種	業務内容
記入例	平成23年 8月 1日 ～ 平成23年 9月30日	千葉県市川市 〇〇遺跡、〇〇古墳	千葉県教育委員会、 〇〇大学考古学研究室 等	調査員、補助 員、アルバイト等	調査指示、遺構 掘削、実測測 量、撮影等

2 遺物整理歴

No.	従事期間	都道府県・市町村名及び 遺跡名	調査機関名	従事の職種	業務内容
記入例	平成23年 8月 1日 ～ 平成23年 9月30日	千葉県市川市 〇〇遺跡、〇〇古墳	千葉県教育委員会、 〇〇大学考古学研究室 等	調査員、補助 員、アルバイト等	接合、復元、実 測、保存処理、 撮影等

※ 欄が不足する場合は、同じ様式で別紙に記入してください。

氏名 _____

3 論文・報告書等執筆歴

No.	論文名・書名	発行者	発行年月日	執筆部分・内容等
記入例	〇〇遺跡発掘調査報告書等（専書・共書）	千葉県教育委員会、 〇〇大学考古学研究室等	平成23年 3月31日	編集、〇〇時代の遺構、〇〇時代の土器・石器、〇〇について等

4 学位請求論文（卒業論文・修士論文・博士論文）

種別	論文名	要 旨	提出先
学士			
修士			
博士			

※ 欄が不足する場合は、同じ様式で別紙に記入してください。

民俗調査研究業績調書

氏名 _____

1 民俗調査歴

No.	従事期間	調査対象	調査機関名	従事の職種	調査内容
記入例	平成23年 8月 1日 ～ 平成23年 9月30日	〇〇県〇〇市〇〇区所有〇〇祭関係資料	〇〇大学〇〇研究室	〇〇研究室学生	〇〇市〇〇区所有の〇〇祭関係資料の調査を行い、記録を作成した。
記入例	平成24年 4月 1日 ～ 平成25年 3月31日	〇〇県〇〇市〇〇神社〇〇祭	〇〇県〇〇市総務課市史編集室	調査員	〇〇市史編集にともない、〇〇祭の調査を行い、報告書を作成した。

※ 欄が不足する場合は、同じ様式で別紙に記入してください。

氏名 _____

2 論文・報告書等執筆歴

No.	論文名・書名	発行者	発行年月日	執筆部分・内容等

3 学位請求論文（卒業論文・修士論文・博士論文）

種別	論文名	要 旨	提出先
学士			
修士			
博士			

※ 欄が不足する場合は、同じ様式で別紙に記入してください。

四教文 第9-14号
平成27年 7月 1日

都道府県教育委員会
各県内埋蔵文化財センター
政令指定都市教育委員会
愛媛県内市町教育委員会
国公立・私立大学考古学関係研究室 様

四国中央市教育委員会
教育長 野村 勝 廣
(公印省略)

平成27年度四国中央市職員採用試験（学芸員(上
級／埋蔵文化財業務)）の実施について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は当市の文化財保護行政にご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の当市職員採用に係る選考につきましては、別紙「平成27度四国中央市職員採用試験実施要綱」に基づき行うこととしているところですが、今回当該選考において埋蔵文化財専門職員（学芸員）についての採用試験を実施することとなりました。

つきましては、広く考古学に関する専門性を有する人材を募るため、貴職下の関係機関等への周知にご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

※募集要綱及び申込用紙等については市HP（下記アドレス）よりダウンロードが可能ですので、ご活用下さい。

https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/shisei/jinjisaiyou/saiyoujoho_seiki/saiyoyoko.html

1. 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験は次の試験区分について行いますが、このうち希望するいずれか一つについてのみ受験できます。なお、採用人数については、今後の状況により増減することがあります。

試験区分	採用予定人員	職務内容
一般事務職（上級）	10 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、一般事務等に従事する。
一般事務職（初級）	2 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、一般事務、介護業務又は消防業務等に従事する。
一般事務職（初級/障害者）	1 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、一般事務等に従事する。
一般事務職（上級/スポーツ枠）	1 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、一般事務等に従事する。
技術職（上級/土木）	3 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、技術的業務、その他一般事務に従事する。
技術職（初級/土木）	1 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、技術的業務、その他一般事務に従事する。
技術職（上級/電気）	1 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、技術的業務、その他一般事務に従事する。
技術職（上級/機械）	1 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、技術的業務、その他一般事務に従事する。
保健師（上級）	2 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、保健師業務、その他一般事務に従事する。
福祉職（上級）	1 名程度	本庁又は出先機関に勤務し、介護及び福祉業務、その他一般事務に従事する。
保育士・幼稚園教諭（中級）	4 名程度	保育園、幼稚園又は児童福祉施設等に勤務し、保育業務、幼児教育業務等に従事する。
学芸員（上級/埋蔵文化財）	1 名程度	埋蔵文化財等にかかる発掘調査、遺物の整理、報告書の刊行、普及業務等に従事する。
心理判定員（上級）	1 名程度	児童や保護者、障害者等に対する心理判定や心理療法、その他相談業務に従事する。
消防職（上級）	2 名程度	消防業務及び救急救命業務に従事する。
消防職（中級/救急救命士）	3 名程度	消防業務及び救急救命業務に従事する。
消防職（初級）	2 名程度	消防業務及び救急救命業務に従事する。

2. 受験資格

(1) 日本国籍を有する者、地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない者(11. 地方公務員法抜粋を参照)

(2) 四国中央市に居住する者又は採用後市内に居住可能な者で、次表に該当する者

試験区分	学 歴 資 格 等
一般事務職（上級）	昭和61年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で、4年制大学（大学院）を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者
一般事務職（初級）	平成2年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者で、高等学校を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者（※学校教育法による4年制大学を卒業した者及び平成28年3月末日までに大学を卒業する見込みの者は除く）
一般事務職 （初級/障害者）	昭和56年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者で、高等学校を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者のうち、下記のいずれの項目にも該当する者 ・身体障害者手帳の交付を受けている者 ・自力（家族送迎も含む）により通勤ができ、かつ介護者なしで一般事務職の業務遂行（1日7時間45分勤務）が可能な者 ・活字印刷による出題に対応可能な者
一般事務職 （上級/スポーツ枠）	・昭和61年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で、4年制大学（大学院）を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者 ・スポーツ活動において顕著な実績・成果を収めた者で、実績・成果に至るまでの過程において培われた挑戦する意欲や能力を市政で発揮できる者
技術職（上級/土木）	昭和61年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で、4年制大学（大学院）を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者
技術職（初級/土木）	平成2年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者で、高等学校を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者（※学校教育法による4年制大学を卒業した者及び平成28年3月末日までに大学を卒業する見込みの者は除く）
技術職（上級/電気）	昭和61年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で、4年制大学（大学院）を卒業した者又は平成28年3月末までに卒業見込の者
技術職（上級/機械）	
保健師（上級）	昭和61年4月2日以降に生まれた者で、保健師の資格を有する者又は平成28年3月末までに資格を取得する見込の者
福祉職（上級）	昭和61年4月2日以降に生まれた者で、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有する者又は平成28年3月末までに資格を取得する見込の者
保育士・幼稚園教諭 （中級）	昭和61年4月2日以降に生まれた者で、保育士及び幼稚園教諭の両方の資格を有し保育士登録を完了している者又は平成28年3月末までに両方の資格を取得し保育士登録が完了する見込の者

学芸員 (上級/埋蔵文化財)	昭和 61 年 4 月 2 日から平成 6 年 4 月 1 日までに生まれた者で学芸員資格を有し、4 年制大学（大学院）において考古学を専攻し卒業した者又は平成 28 年 3 月末までに卒業見込の者
心理判定員（上級）	昭和 61 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、臨床心理士の資格を有しかつ平成 27 年 3 月 31 日現在医療機関・教育相談機関・社会福祉施設等において、心理判定や心理療法、その他相談業務に関する実務経験が、通算 2 年以上ある者
消防職(上級)	昭和 61 年 4 月 2 日から平成 6 年 4 月 1 日までに生まれ普通自動車免許を取得又は取得見込の者で、4 年制大学（大学院）を卒業した者又は平成 28 年 3 月末までに卒業見込の者
消防職 (中級/救急救命士)	平成 2 年 4 月 2 日以降に生まれ普通自動車免許を取得又は取得見込の者で、救急救命士の資格を有する者又は平成 27 年度末までに救急救命士国家試験の受験資格を有しかつ平成 27 年度実施予定の同試験受験見込の者
消防職(初級)	平成 2 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれ普通自動車免許を取得又は取得見込の者で、高等学校を卒業した者又は平成 28 年 3 月末までに卒業見込の者（※学校教育法による 4 年制大学を卒業した者及び平成 28 年 3 月末日までに大学を卒業する見込みの者は除く）

※注 1 上級における大学卒業（卒業見込みを含む。）の者には、高等専門学校専攻科卒業（卒業見込みを含む。）かつ学士の学位取得（取得見込みを含む。）者を含みます。

※注 2 「スポーツ活動において顕著な実績・成果を収めた者」とは、以下のいずれかの大会に出場経験がある者をいいます（申込時にその実績等を証明できる資料を提出してもらいます）。

- ① オリンピック、世界選手権大会またはこれらと同等の国際大会
- ② 国民体育大会、全日本選手権大会、全国実業団選手権大会、全国大学選手権大会（インカレ）、全国高校総合体育大会（インターハイ）またはこれらと同等の全国大会

※注 3 実務経験について

- ① 事業所等において、概ね週 40 時間の勤務時間で勤務していた期間が該当します。
- ② 複数の事業所にわたっている場合は、これらを通算することができます。
- ③ 最終合格決定後、実務経験年数を確認するため、職歴証明書を提出してもらいます（証明書が取れない場合は採用されませんので注意してください）。

3. 試験日・試験場所及び合格発表

区分	試験日時	場所	合格発表
第 1 次試験	平成 27 年 9 月 20 日(日) ※受付時間 9:00～9:30	四国中央市 福祉会館 4 階 多目的ホール (市役所北隣)	平成 27 年 10 月中旬に合否の通知をするとともに、市役所掲示板に合格者の受験番号を公告します。
第 2 次試験	平成 27 年 10 月下旬頃の予定（詳細は第 1 次試験合格者に通知します。）		

第3次試験	平成27年11月中旬頃の予定（詳細は第2次試験合格者に通知します。）
-------	------------------------------------

※注1 一般事務職（初級/障害者）については、障害の種別や等級等により試験時間を変更します。

※注2 第1次試験の会場は、応募人数によって変更になる場合があります。その場合、ホームページ等でお知らせします。

4. 採用試験の方法

(1) 第1次試験

※ 当日受付時に申請内容等の確認のため簡易な面接をいたします。

※ 試験用紙への記入にはHBの鉛筆と消しゴムを使用してください。

※ 一般事務職（初級/障害者）受験希望者については、拡大文字での出題による受験等にも対応します。希望する場合は、必ず申込書別紙の「受験時の希望」欄に記入してください。また、必要な機材については、申込書別紙に記入の上、各自で準備してください。

ア. 教養試験（全試験区分）

公務員として必要な一般的知識、知能及び教養について、筆記試験を行います。

イ. 専門試験（技術職[土木、電気、機械]、保健師、福祉職、保育士・幼稚園教諭）

下記の試験区分（職種）に必要な専門知識について、筆記試験を行います。

試験区分	出 題 分 野
技術職 （上級/土木）	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画（都市計画含む）、土木施工
技術職 （初級/土木）	数学・物理、情報技術基礎、土木基礎力学（構造力学、水理学、土質力学）、土木構造設計、測量、社会基盤工学、土木施工
技術職（電気）	数学・物理、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
技術職（機械）	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
保健師	公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論
福祉職	社会福祉概論（社会保障及び介護を含む。）、社会学概論、心理学概論
保育士・幼稚園教諭	社会福祉、児童家庭福祉（社会的養護含む）、保育の心理学、保育原理、保育内容、子どもの保健（精神保健含む）

※一般事務職、学芸員、心理判定員、消防職については、専門試験はありません。

ウ. 作文試験（一般事務職、学芸員、心理判定員、消防職）

エ. 適性検査（一般事務職、学芸員、心理判定員、消防職）

(2) 第2次試験（第1次試験合格者に対して行います）

ア. 面接試験（全試験区分/プレゼンテーション試験、個人面接）

- イ. 作文試験（技術職、保健師、福祉職、保育士・幼稚園教諭）
- ウ. その他試験（消防職／体力試験、学芸員／実技試験）
- （3）第3次試験（第2次試験合格者に対して行います）
 - 面接試験（全試験区分／個人面接）

5. 受験手続

（1）申込用紙の請求

平成27年6月1日（月）から四国中央市役所総務部人事課（本庁3階）及び各庁舎市民窓口センター受付でお渡しします。また、四国中央市公式HPからのダウンロードも可能です。

（2）申込手続

申込用紙・受験票に必要な事項を記入し、総務部人事課へ提出してください。申込の受付と同時に受験票を交付いたします。

なお、郵送による申し込みの場合は、封筒の表に「受験申込」と朱書き、あて先を書いた返信用封筒（長3封筒）に82円分の切手を貼り、必ず同封してください。

6. 受付期間等

平成27年7月1日（水）から7月31日（金）までの執務時間中（土・日曜日及び祝日を除き午前8時30分から午後5時15分まで）総務部人事課で受け付けます。なお、郵送の場合は、平成27年7月31日（金）までの消印のあるものに限り受け付けます。

7. 提出書類

- ① 四国中央市職員採用試験申込書（写真貼付）
- ② 受験票（写真貼付）
 - ※申込受付時に受験番号の交付を受け、試験当日に持参してください。
- ③ 採用試験申込書別紙及び身体障害者手帳の写し（一般事務職（初級/障害者））
- ④ スポーツ実績申告書（一般事務職（上級/スポーツ枠））

8. 合格・採用

第1次試験では、各試験科目のうち所定の基準を一つでもこえていない科目がある場合は、不合格となります。また、第1次試験受験者全員に、試験の可否、本人の得点及び合格基準点を通知いたします。

なお、この試験の最終合格者は、平成28年4月1日付けで四国中央市職員として採用されることとなりますが、下記事項に該当する場合には合格を取り消します。

- （1）申込書等の記載事項に虚偽又は不正があることが判明した場合
- （2）所定の期日までに卒業しなかった場合
- （3）所定の資格若しくは免許を取得しなかった場合又は救急救命士国家試験を受験していない場合
- （4）採用までに市職員採用内定者として不適切若しくは欠格条項に該当する事実が判明した場合

9. 給 与

給与は、四国中央市職員の給与に関する条例等の規定により支給され、該当者に対しては、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が支給されます。

平成 27 年 4 月 1 日現在の初任給は、上級 174,200 円、中級 154,800 円、初級 142,100 円で、職歴等がある場合は、基準に基づき一定の調整があります。

10. その他（問合せ／請求／照会）

受験手続、その他不明な点は総務部人事課へお問い合わせください。また、本試験に関して内容の変更や追加等のお知らせがある場合は、下記ホームページに随時掲載いたしますので、受験前に必ずご確認ください。

〒799-0497 四国中央市三島宮川 4 丁目 6 番 55 号

TEL 0896-28-6004（内線 1311/人事係）

ホームページ

URL: https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/shisei/jinjisaiyou/saiyoujoho_seiki/index.html

E メールアドレス: jinji@city.shikokuchuo.ehime.jp

11. 参 考（地方公務員法抜粋）

（欠格条項）

第 16 条 次の各号の一に該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

（1）成年被後見人又は被保佐人

（2）禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

（3）当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

（4）人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第 5 章に規定する罪を犯し刑に処せられた者

（5）日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

**平成 27 年度香川県立文書館
嘱託員(古文書業務)募集要項**

平成 27 年 9 月 1 日から香川県立文書館において、資料整理（古文書解説、調査研究等）を中心とする専門業務に従事する嘱託員を募集します。

1. 採用予定人数・業務内容

採用予定人数	業 務 内 容
1 名	・ 古文書の読解、調査研究、収集、整理、保存等の業務 ・ 窓口業務（文書館利用者に対する対応、レファレンス業務等） ・ 研究成果の企画展示

2. 受験資格

(1) 次の各号のすべての条件を満たす者

ア 日本史の知識を有し、古文書（くずし文字）の読解ができる者。

イ パソコンの基本操作(ワード、エクセル等)のできる者

※ 大学等で史学、国文学等を履修していることが望ましい。

(2) 上記の受験資格に該当する者であっても、地方公務員法第 16 条の欠格条項に該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人、被保佐人(準禁治産者を含む。)

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行が終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3. 提出書類

(1) ハローワーク紹介状

(2) 履歴書

・履歴書の記載について

博物館学芸員資格を有する者については、履歴書の免許・資格欄に必ず学芸員資格の取得年月を記入すること。また、研究実績があれば「職務経歴書」に記載してください。また履歴書には必ず、電話番号・携帯電話番号等を書いてください。

4. 受験申込手続及び申込受付期間

(1) 申込方法 履歴書に必要な事項を記入し、写真(最近 6 か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きで本人と確認できるもの)を貼り付け、次のとおり香川県立文書館に申込みをしてください。

①持参する場合

香川県立文書館 2 階事務室へ提出してください。

(文書館 1 階受付に申し出て、2 階事務室におこしください)

②郵送で申込をする場合

封筒の表に「香川県立文書館嘱託員採用試験申込」と朱書きして、香川県立文書館まで郵送してください。

(2) 申込先 香川県立文書館

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 19

- (3) 受付期間 平成 27 年 6 月 26 日(金)～平成 27 年 7 月 28 日(火) 9 時 00 分～17 時 00 分
ただし、持参の場合は土日祝日を除く。
郵送の場合、平成 27 年 7 月 28 日(火)までに必着のこと。
受付期間終了後はどのような理由があっても受け付けません。
なお、提出された履歴書は、選考試験の結果送付の際に返還します。

5. 採用選考試験の方法

古文書解読・歴史的知識に関する筆記試験(30 分) 及び個別面接(10 分程度)

6. 採用選考試験の日時、場所

- (1) 日 時 平成 27 年 8 月 5 日(水) 13 時 30 分～
(受付は 13 時 15 分～)
- (2) 場 所 香川県立文書館 2 階 研修室・会議室
(所在地) 〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 19
(電 話) 087-868-7171

7. 結果の発表

平成 27 年 8 月 12 日(水)までに本人あて発送(郵送)します。

8. 雇用期間

平成 27 年 9 月 1 日(火)～平成 28 年 3 月 31 日(木) ※更新の可能性有

9. 報酬及び勤務時間

- (1) 報酬月額 179,000 円 (期末手当無し)
ただし、平成 27 年 9 月の 1 ヶ月間は試用期間のため、臨時職員(日額 7,300 円)としての雇用になります。
通勤距離に応じて、報酬月額に通勤手当相当額が加算される場合があります。
- (2) 勤務時間等 4 週 19 日(基本的に土日祝が休日ですが、月 2 回程度、土日勤務が有ります。その場合、代休を付与します。)
1 日あたり 7 時間 30 分(8:30～17:00) 休憩時間 60 分
- (3) その他 原則、健康保険、雇用保険、厚生年金保険に加入

10. その他

- (1) 試験会場には、筆記用具(鉛筆・消しゴム)を持参してください。
- (2) この試験についての問合せ先は次のとおりです。

香川県立文書館

(所在地) 〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 19

(電 話) 087-868-7171

(HP アドレス) <http://www.pref.kagawa.lg.jp/bunshokan>

2015 年 7 月 3 日

関係各位

慶應義塾大学外国語教育研究センター

所長 七 字 眞 明

(公印省略)

常勤教員（有期）の公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、慶應義塾大学外国語教育研究センターでは、下記のとおり常勤教員（有期）を公募することになりました。つきましては、貴学（機関）関係者にご周知いただきますとともに、適任者の応募ならびに推薦についてお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 所 属 外国語教育研究センター 専任所員
2. 採用時の職位 助教（有期）
3. 募集人員 1 名
4. 着任時期 2016 年 4 月 1 日（毎年更新、最長 3 年間）
5. 給与および待遇 慶應義塾の規程による
6. 職務内容
 - (1) センターの教育・研究・事業推進並びに一貫教育連携の活動に関係する業務
 - (2) センター設置の外国語科目の担当
 - (3) センターの研究活動への参加およびそのコーディネーションに関する業務
7. 応募資格・要件 (1), (2), (3), (4), (5)の全ての条件を満たしている者
 - (1) 博士の学位、あるいはそれと同等の研究・教育業績を有する者
 - (2) 日本語を母語とするか、業務に支障のない日本語運用能力を有する者
 - (3) 外国語教育学もしくはそれに関連する分野を専攻し、外国語（日本語を除く）を教える能力を有する者
 - (4) センターの協同的な研究プロジェクトのコーディネーション業務が遂行できる者
 - (5) 欧州評議会の『欧州言語共通参照枠』（CEFR）にある「共通参照レベル」に規定するところに従い、授業を行う言語においては C1 以上（授業を行う言語が母語の場合は不要）、その他一つの外国語において B1 以上の運用能力を証明できる者
8. 提出書類
 - (1) 履歴書（日中の連絡先を明記し写真貼付のこと）
 - (2) 業績一覧表（著書、発表論文、口頭発表、担当講義等）
 - (3) これまでの教育研究の紹介、今後の展望と本塾への貢献についてまとめたもの（3000 字程度）
 - (4) 学位証明書または最終学歴の修了証明書

(5) 上記 7.(5) に規定する言語運用能力を証明する書類

(例：フランス語の DELF/DALF、ドイツ語の Goethe-Institut による試験の証明書の写しなど。また直接 CEFR の「共通参照レベル」に基づくものでなくとも、換算ができるものであれば可とする)

(6) 照会可能な 2 名の方の氏名と連絡先（所属・職名・電話番号とメールアドレス）

※ 封筒に「教員応募書類」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

※ 応募書類は、募集業務以外の目的では使用せず、使用後は適正に処理いたしますが、返却をご希望の方はその旨明記し、書類が入る大きさの封筒と送付先記入済みの宅配便伝票（着払いのみ）を同封して下さい。普通郵便その他の返却はいたしません。

- | | |
|------------|--|
| 9. 応募期限 | 2015 年 8 月 7 日（金）必着 |
| 10. 選 考 | 書類審査を行い、合格者に対して面接（模擬授業を含む）を行います。
なお、面接の際の交通費は応募者の負担となります。 |
| 11. 書類送付先 | 〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
慶應義塾大学外国語教育研究センター事務室 |
| 12. 問い合わせ先 | E-Mail flang-koubo@adst.keio.ac.jp |

以上

平成27年7月7日

関係各位

立正大学文学部
学部長 齊藤 昇
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清栄のことと、およろこび申し上げます。

さて、このたび立正大学文学部文学科日本語日本文学専攻コースでは、別紙の通り専任教員を公募することになりました。つきましては、貴大学・研究機関関係者にお知らせいただくとともに、適任者の推薦について、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 職 階・人 員： 准教授、または講師（専任、または特任） 1名
- 2 専 門 領 域： 日本古典文学（近世文学）
- 3 採 用 予 定 日： 平成28年4月1日
- 4 任 期・定 年： 満70歳に達した年度末
- 5 待 遇・給 与： 本学園給与規程による
- 6 応 募 資 格： (1)博士（文学）の学位を有する方
(2)担当科目および関連分野に関する学術業績を有する方
(3)上記(1)、(2)を満たし、准教授の場合は、学部および大学院修士課程の研究指導が可能な知見を持ち、採用予定日に着任可能な方。講師の場合は、学部の担当科目の授業および卒業論文指導ができ、採用予定日に着任可能な方。
- 7 担 当 科 目： 学部担当科目：「日本文学概論」「日本文学講読」「総合演習」など。
准教授はこれに加えて、大学院科目として、「日本文学演習」など。
- 8 応 募 書 類： (1)履歴書（写真貼付） 1部
※本学所定の様式を使用してください。様式、記入要領、記入例を本学文学部ホームページ（<http://letters.ris.ac.jp/>）よりダウンロードしてください。
(2)研究業績書 1部（様式は履歴書に含まれています。）
※主要な著書・研究論文などから代表的なものを3点以内。研究論陣は抜き刷り、コピー等可
- 9 提 出 先： 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
立正大学文学部事務室気付 文学部長 齊藤 昇 宛
※封筒の表に「文学部文学科専任教員（日本古典文学）応募書類在中」と朱書き、書留または宅配便で送付してください。
※提出いただいた書類等は原則返却いたしません。審査終了後、適正に廃棄処分させていただきます。ただし、返却をご希望の場合は、その旨を明記した書類および返信用封筒（宛名明記の上、切手または宅配便の着払い伝票を添付）を同封してください。
※応募書類は、本件採用人事の選考以外の目的に使用することはありません。
- 10 提 出 期 限： 平成27年8月31日（月）当日消印有効
- 11 問.合 せ 先： 立正大学文学部事務室 事務長 若島 大輔
Tel03-3492-8791 E-mail: let@ris.ac.jp
- 12 そ の 他： <選考内容・結果通知方法>
(1)審査の最終段階で面接を行うことがありますが、その際の交通費等は応募者の負担となりますのでご了解ください。
(2)選考結果については、平成27年10月末日までに本学からの連絡がない場合は、今回の公募に関して、ご縁がなかったものとお考えください。

以上

平成27年 7 月 1 日

各 関 係 大 学 長
各 関 係 学 部 長
各 大 学 院 研 究 科 長
各 関 係 機 関 の 長
殿

天 理 大 学 長 飯 降 政 彦
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では、下記の要領により教員を募集することになりました。

つきましては、ご多用中まことに恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお願い申し上げます

記

1. 公募職名・採用人員：専任教員（教授、准教授または講師） 1 名
2. 所 属：文学部歴史文化学科歴史学専攻
3. 専 門 分 野：日本古代中世史
4. 主な担当授業科目：歴史学基礎演習、歴史学研究入門、日本史要説、日本古代史（または中世史）の研究、日本古代（または中世）史料の講読、日本古代中世史演習、古文書学、卒業論文演習など
5. 応 募 資 格：(1)天理大学の建学の精神を体し、「陽気ぐらし」世界建設に寄与する人材の養成のため、熱意を持って教育、研究活動に取り組むのできる方
(2)大学院博士課程前期課程（または修士課程）修了以上の学歴を有し、公募職種にふさわしい教育研究業績を有する方
*奈良や周辺地域を研究対象とされる方が望ましい
6. 提 出 書 類：(1)履歴書 1 通（本学所定用紙）
(2)教育研究業績書 1 通（本学所定用紙）
※なお、必要に応じてその他の資料を提出していただく場合があります。
(3)推薦書 1 通（書式は自由）
7. 応 募 締 切 日：平成27年8月31日（月）必着
8. 採 用 予 定 日：平成28年4月1日
9. 選 考 方 法：書類審査および面接（面接時の旅費等は自己負担）

10. 採 否 の 決 定：選考は天理大学人事委員会で行います。選考手続き終了後、本人に通知いたします。なお、応募の秘密は厳守いたします。

11. 応 募 書 類 提 出 先：〒 6 3 2－8 5 1 0

奈良県天理市杣之内町 1 0 5 0

天理大学人事委員会

※封筒の表に「歴史学専攻専任教員応募書類在中」と朱書の上、書留郵便で送付してください。

なお、応募書類は原則として返却いたしませんのでご了承ください。

12. 問 い 合 わ せ 先：天理大学文学部歴史文化学科歴史学専攻主任 谷 井 陽 子

Tel 0 7 4 3－6 3－7 2 2 0

Fax 0 7 4 3－6 2－1 9 6 5

E-mail tanii-y@sta.tenri-u.ac.jp

※不在の場合は、天理大学庶務課（担当 小島）までお問い合わせください。

Tel 0 7 4 3－6 3－9 0 0 1

E-mail hk3769@sta.tenri-u.ac.jp

13. 備

考：1次選考通過者に理事長面接および文学部における面接を行います。

応募書類に含まれる個人情報、採用選考以外の目的には利用いたしません。

提出された書類に不備、不足等がある場合、選考の対象から外れることとなりますので、ご注意ください。

また、選考結果についての説明には応じかねますので、あらかじめご了承ください。

履歴書、教育研究業績書等は、天理大学ホームページよりダウンロードしてください。

<http://www.tenri-u.ac.jp/info/tusaiyou.html>

学会及び社会における活動等		
年	月	事 項
賞 罰		
年	月	事 項
上 記 の と お り 相 違 あ り ま せ ん 。		
年 月 日		
氏 名		
Ⓔ		

履歴書記入上の注意事項

I. 性別

男女の別を記入してください。

II. 学歴

1. 大学もしくは高等専門学校、またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する方は、これらの学歴のすべて（中途退学も省略しない）について記入し、その他の方は、最終学歴について記入してください。
2. 博士課程を出てまだ博士号を取得していない方は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
3. 大学の別科および専攻科は、この欄に記入してください。
4. 学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護婦、教員等の資格についても記入してください。学位、称号についてはその種類・名称等を正確に記入してください（例：〇〇修士、修士（〇〇）、△△博士、博士（△△）、◇◇大学名誉教授等）。また、資格については登録番号も付記してください。
5. 学生としての留学は、この欄に記入してください。
6. 外国の資格は正確に記入してください。また、原語も併記してください。

III. 職歴

1. 職歴のすべて（自営業、主婦、無職等も省略しない）について記入し、職名、地位等についても明記してください。
2. 大学の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記してください。
3. 担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。
4. 各職歴について、いつからいつまで（例：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月）の職歴かが明確になるように記入してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と記入してください。
5. 大学設置・学校法人審議会において、教員の資格審査を受けられた方は、当該審査に係る大学名、審査の年月、職名（教授、准教授〔助教授〕、講師および助教の別）および担当授業科目名の他に、専任、兼担および兼任の別も記入してください。

IV. 学会および社会における活動等

1. 本人の専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入してください。
2. 所属学会名は正確に記載してください。
3. 学会での発表内容等は、教育研究業績（学術活動）の[学会発表等]に整理して記入してください。

V. 備考

1. 各項目における年月については、西暦で記入してください。
2. 携帯電話番号ならびにメールアドレスについては、支障のない範囲で記入してください。
3. この書類に含まれる個人情報、採用選考ならびに資格審査以外の目的には利用いたしません。

教育研究業績書（研究活動）

年 月 日

[著 書]

氏 名

㊟

書 名	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	担当頁 および 合計頁数
					～
					計 頁

(概 要)

					～
					計 頁

(概 要)

					～
					計 頁

(概 要)

					～
					計 頁

(概 要)

教育研究業績書（研究活動）

〔学術論文〕

タイトル [査読の有無：有 無]	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	掲載頁 および 合計頁数
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					

教育研究業績書（研究活動）

[その他の執筆業績]

タイトル	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	掲載頁 および 合計頁数
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					

教育研究業績書（研究活動）

[研究資金獲得：科学研究費補助金]

申請 年度	研究種目	研究課題名	申請者区分	研究期間	交付

教育研究業績書（研究活動）

[研究資金獲得：その他の研究助成]

申請 年度	研究助成の名称	研究課題名	申請者区分	研究期間	審査の 有無	交付

教育研究業績書（学術活動）

[教材・教育方法開発等]・[翻訳]・[教養書等]・[事典（辞典）の項目執筆]・[学術報告書、資料集、資料翻刻・紹介]・[図録、文献目録・資料目録]・[書評、新刊紹介]

[業績ジャンル] タイトル	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	掲載頁 および 合計頁数
[]					～ 計 頁
(概要)					
[]					～ 計 頁
(概要)					
[]					～ 計 頁
(概要)					
[]					～ 計 頁
(概要)					

教育研究業績書（学術活動）

[学会発表等]

発 表 題 目	単 独 共 同 の 別	発表年月	学会等の名称	共同発表者名 (共同発表の場合に記入)	担当箇所
(概 要)					
(概 要)					
(概 要)					
(概 要)					

教育研究業績書（学術活動）

[専門分野における業績]

競技会・展覧会・ 演奏会等の名称	場 所	開催日時	競技成績・発表・演奏等の内容等

教育研究業績書（学術活動）

[職務上の実績]

職務上の実績に関する事項	年 月	概 要

教育研究業績書記入上の注意事項

この書類は、担当学科目に関連する研究活動および学術活動の業績等について、発行または発表が予定されているものを含み、それぞれ年月順（古いものから新しいものへ）に記入してください。

Ⅰ. 教育研究業績書（研究活動）について

- ・[著書] については、応募者の専門分野に関する研究を書物として世に問う内容のものについてのみ記載してください。教科書、教養書、翻訳等については、「教育研究業績書（学術活動）」へ記載してください。
- ・[学術論文] については、「論文」「研究」「評論」等に位置づけられているもののみを、査読の有無のいずれかを○で囲みながら記入してください。
- ・[その他の執筆業績] については、「研究ノート」等、学術論文に準ずる執筆業績を記入してください。

なお、年度、年月は西暦で記入してください。

◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績] の記入に関して

・単著、共著の別

共著書の1つの章のみを執筆・掲載したものは、学術論文（単著）として扱いますので、該当する業績は[学術論文]へ記載してください。

・発行所、発表雑誌等の名称

①発表学会誌等は、その名称のほか、巻・号まで記入してください。

②発行予定の著書や学術論文については、その旨の証明書（発行証明書、論文受理証明書等）を添付してください。なお、執筆予定や投稿予定のものについては除きます。

・概要

①「概要」の欄には、著書、学術論文、その他の執筆業績の概要を200字程度で記入してください。

②共著の場合は、担当部分（概要、担当頁〔p〇〇～p〇〇〕および合計頁数を示してください）を明記するとともに、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順（例：編者△△△△、分担執筆〇〇〇〇、□□□□、××××）に記入してください。
なお、本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

③学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。

◎ [研究資金獲得：科学研究費補助金] の記入に関して

文部科学省および日本学術振興会が交付を行っている科学研究費補助金の公募に対し、研究計画調書を作成して応募を行ったことがある場合に記入してください。当該研究計画に対して補助金が交付されたかどうかは問いません。なお、研究分担者として加わった研究計画については除きます。

・ 研究種目

応募を行った科学研究費補助金の研究種目（例：基盤研究（A）、若手研究等）を記入してください。

・ 申請者区分

個人での応募の場合は「個人」、研究代表者として応募を行った場合は「研究代表者」と記入してください。

・ 研究期間

応募した研究計画が複数年にわたる場合は、その期間（〇〇年～〇〇年）を記入してください。

・ 交付

応募した研究計画に対して補助金が交付された場合は「○」、交付されなかった場合は「×」を記入してください。

◎ [研究資金獲得：その他の研究助成] の記入に関して

科学研究費補助金以外の、各種団体・機関等による研究助成に対して申請を行ったことがある場合に記入してください。当該の申請に対して助成金が交付されたかどうかは問いません。なお、共同研究者等として加わった申請については除きます。

・ 研究助成の名称

申請を行った研究助成制度の名称を記入してください。助成制度固有の名称がない場合は、当該団体または機関の名称を記入してください。

・ 申請者区分

個人での申請の場合は「個人」、研究代表者として申請を行った場合は「研究代表者」と記入してください。

・ 研究期間

申請した研究計画が複数年にわたる場合は、その期間（〇〇年～〇〇年）を記入してください。

・ 交付

申請した研究計画に対して助成金が交付された場合は「○」、交付されなかった場合は「×」を記入してください。

Ⅱ. 教育研究業績書（学術活動）について

「Ⅰ.」の教育研究業績書（研究活動）に記載していない業績に関し、以下の区分にしたがって記入してください。

なお、年度、年月の記入については西暦で記入してください。

◎[教材・教育方法開発等] の記入に関して

語学テキスト等の教科書の作成や文部科学省検定教科書の作成、教育方法等に関する論文および教育研究ノート、教育実践レポートなどに関する業績を記載してください。

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績] の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[翻訳] の記入に関して

翻訳に関する業績を記載してください。

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績] の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[教養書等] の記入に関して

学術的な内容の著書を除く単行本や新書、雑誌・新聞の署名記事等、「Ⅰ. 教育研究業績書（研究活動）」の[著 書]に記載していない業績について記載してください

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績] の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[事典（辞典）の項目執筆]、[学術報告書、資料集、資料翻刻・紹介]、[図録、文献目録・資料目録]、[書評、新刊紹介] の記入に関して

各区分に該当する業績をそれぞれ記載してください。

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績] の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[学会発表等] の記入に関して

国際学会および全国学会での発表（分科会を含む）について記載してください。研究会等での発表に関しては記載の必要はありません。

また口頭発表のほか、学会・シンポジウム等でのコーディネーターや、依頼による発表・講演等についても記載してください。

・単独、共同の別

個人での発表の場合は「単独」、共同研究による発表の場合は「共同」と記入してください。

・学会等の名称

発表を行った学会やシンポジウムの名称を記入してください。分科会での発表の場合は、分科会の名称まで記入してください。

・概要

①「概要」の欄には、発表の持ち時間、発表等の概要を200字程度で記入してください。

②共同発表の場合は、担当部分を明記するとともに、本人の氏名を含め発表者全員の氏名を記入してください。なお、本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

◎[専門分野における業績] の記入に関して

本人の専門とする分野において、担当学科目に関連して、著書、論文等以外に顕著な業績として認められるものについて記載してください。(例：スポーツ選手としての競技実績、スポーツ選手の育成・指導、芸術作品の発表会・演奏会、語学スピーチコンテストの指導〔表彰・入賞したもの〕等)

なお、スポーツに関する実績については、競技成績とともに本人の立場(選手・監督・コーチ等)を「競技成績・発表・演奏等の内容」の欄に記入してください。

◎[職務上の業績] の記入に関して

本人が携わっていた職務に関わって、著書、論文等以外に下記の項目、事項において実績を有している場合に記載してください。

なお、下記の分野、事項はあくまでも例示ですので、該当しない場合であっても、実績として認められるものについては、適宜記載してください。

[項目・事項例]

(i) 新技術の創出や開発などによる産業基盤の構築への寄与

- ・特許取得
- ・顕彰される新製品の開発
- ・関係分野での受賞 等

(ii) 文化の伝承、発展および創造活動への寄与

- ・芸術分野での顕彰や受賞
- ・ジャーナリズムやマスコミ関係での活動 等

(iii) 福祉活動、社会活動における寄与

- ・NPO、NGOにおける活動
- ・社会教育講座、生涯学習講座講師 等

(iv) 国際交流への貢献

(v) その他

平成 27 年 7 月 2 日

関 係 各 位

広島大学大学院教育学研究科長

宮 谷 真 人 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしく
お取り計らい願います。

敬具

記

1. 所 属 広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座
2. 職 名 ・ 人 員 教授又は准教授 1 名
3. 採用予定年月日 平成 28 年 4 月 1 日
4. 専 門 分 野 言語学・日本語教育学
5. 担 当 科 目 大学院及び学部における言語学・日本語教育学の講義、演習等
(「言語の比較と対照研究」、「日本語教育学特講Ⅳ」(日本語教育方法学に
関する科目) 等)
6. 応 募 資 格 次の要件をすべて満たす者
 - (1) 博士の学位 (外国において授与されたこれに相当する学位を含む)
を有すること又はそれに準ずる業績を有すること。
 - (2) 日本語の言語学及び日本語教育学に関する研究業績を有すること。
 - (3) 大学院及び学部での研究指導の経験を有すること。
 - (4) 日本語教育の経験を有すること。
 - (5) 日本語及び英語での授業が担当できること。
7. 応 募 書 類
 - (1) 履歴書 (市販の用紙可, 写真貼付)
 - (2) 研究業績一覧: 年代の古い順に記載し, 審査付き業績には番号に下
線を付すこと。
 - (3) 主要な研究業績 5 点の原本又は別刷かコピー (そのうち 3 点は最近 5
年以内のものを含む)
 - (4) 教育上の主要な業績 (担当した授業科目の情報を含む)
 - (5) 社会貢献に関わる主要な業績
 - (6) 最近 5 年間における外部資金の獲得状況
8. 応 募 期 限 平成 27 年 9 月 4 日 (金) (必着)

9. 応募書類送付先 〒739-8524 東広島市鏡山1丁目1番1号
広島大学大学院教育学研究科長 宮谷真人
※封筒の表に「日本語教育学講座教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便で送付してください。
10. 選 考 方 法 (1) 書類審査
(2) 必要に応じて面接、英語による模擬授業（外国人の場合は日本語による模擬授業も行う）を行う。ただし、旅費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。
(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
11. 給 与 等 採用になった方には、月給制が適用されます。
(広島大学職員給与規則適用)
12. 評 価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映することを検討しています。
13. そ の 他 (1) 国、特定独立行政法人、地方公共団体または国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取り扱いとは異なりますのでご注意ください。なお、他の国立大学法人または独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り、従来どおり通算されます。

(2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考および採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続きに利用するものであり、この目的以外での利用または提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
14. 問 い 合 わ せ 先 広島大学大学院教育学研究科 日本語教育学講座主任 白川 博之
TEL 082-424-6868 FAX 082-424-5245
E-mail: hshirak@hiroshima-u.ac.jp

平成 27 年 7 月 1 日

愛知県公立大学法人

愛知県立芸術大学長 松村 公嗣
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

本学では下記の要領により教員を公募することとなりました。

- 1 職 名 美術学部 (日本画専攻) 専任講師又は准教授
- 2 募集人員 1 名
- 3 担当科目 学部開設科目: 日本画実技 I, II, III, IV (含む卒業制作)、古典絵画研究、材料研究、古美術研究
大学院開設科目: 美術総合研究 (日本画領域)、美術特別研究 (日本画領域)
- 4 応募条件 (1) 広く日本画に見識を有し、日本画実技の指導に当たることができる者。
(2) 古典技法の見識を有し、模写の経験がある者。
(3) 大学院博士前期課程修了又はこれと同等の能力を有する者。
(4) 博士後期課程の指導能力を有する者が望ましい。
(5) 大学や研究機関での教育経験を有する者が望ましい。
(6) 原則として、愛知県または近県に居住し通勤可能な者。
- 5 採用予定日 平成 28 年 4 月 1 日
- 6 応募期限 平成 27 年 9 月 4 日 (金) 必着
- 7 提出書類 (1) 履歴書 (写真添付・E-mail アドレス等確実に連絡が取れる方法を明記してください)
(2) 研究業績一覧 (研究業績、展覧会発表を含む)
(3) (2) に関する資料 (後日着払いで返送します)
 - ・ 作品写真をファイルにまとめたもの
 - ・ 論文、著作等の資料
 - ・ 教育実績に関する資料
(4) 返信用封筒 (切手を貼付のうえ、返信用住所氏名を記入して下さい)
* (1) 及び (2) については、様式を本学ホームページからダウンロードして記入し、プリントアウトしたものを提出して下さい。
- 8 選考方法 面接を実施することがあります。(旅費等自己負担)
選考結果については、平成 27 年 11 月下旬までにご連絡いたします。
- 9 書類提出先 〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
愛知県立芸術大学芸大総務課 (Tel 0561-76-2492)
* 封筒の表に「美術学部教員 (日本画専攻) 応募書類」と朱書きの上、簡易書留 (ゆうパックも可) で郵送して下さい。
- 10 問い合わせ先 愛知県立芸術大学 芸大総務課 鈴木 (Tel 0561-76-2492)
E-mail aigeiweb@mail.aichi-fam-u.ac.jp
- 11 そ の 他 (1) 本学の定年は 65 歳です。
(2) 本公募は、本学ホームページ <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>、愛知県公立大学法人ホームページ <http://www.puc.aichi-pu.ac.jp/> にも掲載しています。

中国語任期付教員公募要領

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：主として全学共通教養教育科目（中国語）。および、グローバル・コミュニケーション学部専門科目（中国語科目、講義科目）。
3. 採用人員：1名
4. 任用期間：2016年4月1日～2021年3月31日の5年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1）中国語を母語とする者。
 - （2）中国語教育または現代中国語圏の社会・文化に関連する学問分野で、博士号を取得している者、またはそれに準じる教育上・研究上の業績を有する者。
 - （3）大学における1年以上の中国語入門レベルの教育経験を有する者。
 - （4）授業・校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5）近畿圏に居住できる者。
 - （6）応募時点で3点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1）授業担当は、1週16時間（8コマ）を最少基準とする。
 - （2）科目担当以外に、中国語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の中国語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、入学試験関連業務（監督等）、広報活動に関する業務（オープンキャンパス、模擬授業等）を担当する。
7. 提出書類：
 - （1）履歴書・業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書、各1通。書式は同志社大学のホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる研究業績2点（抜き刷り、コピー可。各々日本語で1,200字程度の要旨を付すこと）。
 - （3）応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育・研究計画について日本語2,500字程度にまとめたもの）。
 - （4）最終学位証明書のコピー。
8. 応募締切日：2015年9月11日（金）17時必着
9. 提出先および問い合わせ先：〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 中村 久男

注) なお、封筒の表に「中国語任期付教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留郵便で送付すること（宅配便可）。

※本件に関する問い合わせは、e-mail(jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp)でお願いいたします。（電話での問い合わせはご遠慮ください。）

10. その他：

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求めることがある。
- (3) 必要に応じて日本語と中国語による面接を行い、また模擬授業の実施を求めることがある。
- (4) 面接の際の交通費は、本学部の規定に基づいて支給する。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記7の提出書類は原則として返却しない。
- (7) 夏季休暇中に連絡先が変わる場合は、変更期間、変更先の住所、電話番号、電子メールアドレスを記載したものを必ず応募書類に同封すること。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

関係各位

公立大学法人京都市立芸術大学
美術学部長 藤原 隆男
美術研究科長 秋山 陽
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下、ますます御清栄のことと存じます。

このたび、本学部・研究科では、下記の要領において教員を公募いたしますので、関係各方面の方々へ御周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1 担当内容

- (1) 学部：『哲学』、『哲学特論』、『テーマ演習』、『総合基礎実技』
- (2) 大学院修士課程：『哲学特講』
- (3) 大学院博士（後期）課程：論文指導

など

2 職名・人員

講師又は准教授 1 名

3 応募条件

- (1) 広い視野のもとで哲学の研究・教育にあたる人で、哲学の分野で優れた研究業績を有する人
- (2) 博士の学位あるいはそれと同等の研究業績をもつ人
- (3) 大学またはそれと同等水準の教育機関で教育経験を 2 年以上有することがのぞましい。
- (4) 実技を含む他領域と連携しつつ積極的に研究教育にあたる人
- (5) 学内運営業務に積極的にあたれる人
- (6) 国籍、性別は問わない。
- (7) 採用後、通勤可能な近畿地方に居住する人

4 提出書類等

- (1) 提出物一覧表
- (2) 履歴書 (JIS 規格に準拠したもの。押印のうえ写真を貼付)
- (3) 最終学校の卒業又は修了証明書 (写しは不可)
- (4) 業績目録
- (5) 順位を付した主要著書、論文等の写し (5 点以内)
- (6) 本学における哲学の教育についての抱負 (日本語、A4 用紙 1 枚)

5 面接

書類選考通過者には 1～2 回の面接を実施する場合があります。(面接の旅費等は自己負担となります。)

6 提出期限

平成 2 7 年 9 月 1 4 日 (月) 必着 (書留又は宅配便など、配達確認が可能な方法。持参は不可)

7 採用予定日

平成 2 8 年 4 月 1 日 (内定は、平成 2 7 年 1 1 月頃を予定しています。)

※内定時期によっては、採用時期が遅れる場合があります。

8 書類提出先

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

京都市立芸術大学 美術学部長宛 (表に「哲学教員応募」と朱書のこと。)

9 問合せ先

京都市立芸術大学事務局教務学生課 (美術教務担当) 電話 075-334-2220

10 その他

- (1) 提出書類は採用事務にのみ使用し、その他に使用することはありません。
- (2) 提出書類は、選考終了後返却します。
- (3) 採否の結果については、文書で応募者に通知します。
- (4) 本学の情報は、ホームページ (<http://www.kcua.ac.jp/>) を御覧ください。

関係大学長殿
関係機関長殿

福岡大学人文学部長 星 乃 治 彦
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では下記の要領にて専任教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ恐縮ではございますが、貴学関係者にこれをご周知いただきますと共に、適任者の応募につきご配慮たまわりたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 採用職名 専任講師または准教授
2. 募集人員 1 名
3. 担当科目 共通教育英語および英語学科専門科目 (英語学関連科目)
(研究分野) コーパス言語学または社会言語学 (英語の多様性に係る研究)
4. 待遇 給与および諸手当は本学給与規程による。なお、本学の定年年齢は 65 歳です。
5. 着任時期 平成 28 年 4 月 1 日から
6. 国籍 国籍は不問。日本語を母語としない場合は、学内業務に必要な日本語運用能力を有すること。
7. 応募資格 (下のイ、ロの条件をともに満たす者)
(イ) 採用時に博士前期課程修了後 3 年以上の研究歴を有する者
もしくは、大学・短大・高专での十分な教育歴及び研究業績のある者
(ロ) 上記 3. の「担当科目」を英語で授業を行うことができる者
8. 募集締切 平成 27 年 9 月 18 日 (金) 応募書類必着
9. 応募書類 (イ) 履歴書 (本学所定の書式による) 連絡先を明記。
(ロ) 研究業績書 (本学所定の書式による) 主要業績 3 点に○印を付す。
(ハ) 教育業績書 (教育歴を有する者のみ。本学所定の書式による)
(ニ) 職務実績書 (本学所定の書式による)
(ホ) 主要業績 3 点 (著書・論文) の実物またはコピー
(ヘ) 英文エッセイ (タイトル: English Education in Japan: My Response to the Challenges Facing University Teachers) (A4 版用紙 1 枚程度)
※ (イ) (ロ) (ハ) (ニ) の書式は本学ホームページ (<http://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/koubo/>) よりダウンロードしてください。
10. 書類提出先 〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1
福岡大学人文学部長 星乃治彦 宛
※応募書類には封筒に『英語学応募書類』と朱書きし、書留郵送にすること。
※応募書類 (著書・論文を含む) は原則として返却いたしません。返却を希望される場合はその旨お申し出ください。
11. 問い合わせ先 福岡大学 TEL: 092-871-6631 (代表)
人文学部英語学科 白谷敦彦 TEL: 内線 3521 E-mail: atsuhiko@fukuoka-u.ac.jp
12. 選考について 一次選考 (書類選考) 合格者に対し、二次選考 (面接および模擬授業) を行います。二次選考は別途連絡します。

広大文支第 15-98 号

平成 27 年 7 月 1 日

関係各機関長 殿

広島大学大学院文学研究科長

勝部 真人 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究科では、下記の要領で教員の公募を行うことになりました。

つきましては、関係者にお知らせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 所属講座 広島大学大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座
- 2 専門分野 イギリス文学
- 3 職名及び人員 准教授 1 名
- 4 担当予定授業科目 (大学院)
「イギリス小説作品演習」ほか
(学部)
「イギリス小説文学演習」、「英文学批評講義」ほか
(教養教育)
「文学・語学の世界」ほか
- 5 採用予定年月日 平成 28 年 4 月 1 日
- 6 応募資格
 - (1) 博士の学位または博士の学位と同等の学力を有し、著書 (単著) 1 冊以上または論文 10 編以上の研究業績を有する者
 - (2) 大学院における教育経験を有する者が望ましい (履歴書に教育経験の履歴を明記のこと)
 - (3) 日本語を母語とする者の場合、1 年以上の英語圏への留学経験のあることが望ましい。日本語を母語としない場合、学内の業務に支障のない日本語能力を有する者
- 7 応募書類
 - (1) 履歴書 1 通 (学歴・職歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記のこと)
 - (2) 研究業績一覧 1 部 (様式は次の URL を参照のこと)
http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html

- (3) 主な研究業績 5 編の実物またはコピー 各 1 部
(それぞれ 400 字程度の要旨を添付すること。なお、審査の過程ではほかの業績の提出を求めることがあります。)
- (4) これまでの研究・教育実績に基づく今後の研究計画・教育方針
(2000 字程度)

※ 上記書類は審査終了後に返却します。応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用または提供することはありません。

8 応募締切日 平成 27 年 8 月 28 日 (金) 必着

9 書類提出先 〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学大学院文学研究科長 勝部 眞人 宛

※ 提出書類は書留郵便で郵送してください。その際、封筒の表に「欧米文学語学・言語学講座イギリス文学分野教員応募書類在中」と朱書きしてください。

※ 選考のため面接を行うことがあります。(旅費は応募者の負担となります。)

10 その他

広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において優劣をつけたいと認められた場合は女性を採用します。

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映することを検討しています。

問い合わせ先

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学大学院文学研究科

欧米文学語学・言語学講座 吉中 孝志

TEL 082-424-6681

FAX 082-424-6683

E-mail: ytakashi@hiroshima-u.ac.jp

または、

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学文学研究科支援室

TEL 082-424-6604

FAX 082-424-0315

Issue Number: 15-98

1st July, 2015

To Whom It May Concern:

Makoto Katsube (official seal omitted)
Dean of the Graduate School of Letters, Hiroshima University

Recruitment of One Position for an Associate Professor

I hope this letter finds you in good health.

We are now recruiting for one position for an Associate Professor shown below.

Please notify all those concerned.

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 Department: | British, American, and European Languages and Literatures,
and Linguistics; Graduate School of Letters, Hiroshima
University |
| 2 Discipline: | British Literature |
| 3 Titles and Positions Available: | Associate Professor; one position |
| 4 Courses to be Taught: | (Graduate School)
[Seminar on English Literature] etc.
(Faculty)
[Seminar on English Novels], [Lecture on English
Literary Criticism], etc.
(Liberal arts education)
[World of Language and Literature] etc. |
| 5 Starting Date: | 1st April, 2016 |
| 6 Qualifications: | (1) Must have completed doctoral degree or equivalent
academic attainment, and must have published at least one
academic publication (sole author) or at least ten research
papers.
(2) Teaching experience in a university graduate school is
desired (teaching experience must be clearly stated on the
curriculum vitae).
(3) At least one year of overseas study is desired for
applicants who are native speakers of Japanese.
Applicants who are non-native speakers of Japanese must |

have the level of Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their responsibilities and administrative duties effectively.

7 Application Materials:

(1) Curriculum vitae: One copy (including degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions/societies, address, email address, etc.)

(2) List of publications: One copy (refer to the below URL for format)

http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html

(3) Originals or copies of five publications considered most relevant to position applied for: One original/copy of each (Each publication must include a summary of around 400 characters in Japanese. During the screening process, you may be requested to provide additional materials).

(4) A plan for future research or teaching based on your research results or teaching experience to date (around 2,000 characters in Japanese)

*The above materials will be returned once the screening process is complete. Personal information obtained from the application materials will only be used for the purpose of screening candidates and administrative processes (personnel affairs etc.) following recruitment. They will not be used or supplied to third parties for any other purpose.

8 Deadline:

Applications must arrive no later than
Friday, 28th August, 2015

9 Where to Send:

Makoto Katsube, Dean of the Graduate School of Letters,
Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

- Send the required materials by registered mail. Write on the envelope in red ink, "Associate Professor for British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistic (English Literature) Application Enclosed".
- You may be requested to come in for an interview (in such an event, you will be required to pay for your own travel expenses).

10 Others:

Hiroshima University promotes a gender-equal society. In

accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society, our university will hire a female applicant rather than a male applicant when the achievements (including research achievements, academic achievements, societal contribution, etc.) and character of both applicants are considered equal.

Hiroshima University conducts evaluations of lecturers' performance after recruitment, converts the results of such evaluations into scores, and assesses their salary in view of such scores.

Inquiries

Prof. Takashi Yoshinaka

Graduate School of Letters, Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

TEL 082-424-6681

FAX 082-424-6683

E-mail: ytakashi@hiroshima-u.ac.jp

Academic Office, Graduate School of Letters, Hiroshima

University, 1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

TEL 082-424-6604

FAX 082-424-0315

広大文支第 15-99 号

平成 27 年 7 月 1 日

関係各機関長 殿

広島大学大学院文学研究科長

勝部 真人 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究科では、下記の要領で教員の公募を行うことになりました。

つきましては、関係者にお知らせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 所属講座 広島大学大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座
- 2 専門分野 英語学
- 3 職名及び人員 准教授 1 名
- 4 担当予定授業科目 (大学院)
「中期英語作品研究演習」、「英語学特殊講義」ほか
(学部)
「中期英語演習」、「英語史」ほか
(教養教育)
「文学・語学の世界」ほか
- 5 採用予定年月日 平成 28 年 4 月 1 日
- 6 応募資格
 - (1) 博士の学位または博士の学位と同等の学力を有し、著書 (単著) 1 冊以上または論文 10 編以上の研究業績を有する者
 - (2) 大学院における教育経験を有する者が望ましい (応募用履歴書に教育経験の履歴を明記のこと)
 - (3) 日本語を母語とする者の場合、1 年以上の英語圏への留学経験のあることが望ましい。日本語を母語としない場合、学内の業務に支障のない日本語能力を有する者
- 7 応募書類
 - (1) 履歴書 1 通 (学歴・職歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記のこと)
 - (2) 研究業績一覧 1 部 (様式は次の URL を参照のこと)
http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html

- (3) 主な研究業績 5 編の実物またはコピー 各 1 部
(それぞれ 400 字程度の要旨を添付すること。なお、審査の過程でほかの業績の提出を求めることがあります。)
- (4) これまでの研究・教育実績に基づく今後の研究計画・教育方針
(2000 字程度)

※ 上記書類は審査終了後に返却します。応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用または提供することはありません。

8 応募締切日 平成 27 年 8 月 28 日 (金) 必着

9 書類提出先 〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学大学院文学研究科長 勝部 眞人 宛

※ 提出書類は書留郵便で郵送してください。その際、封筒の表に「欧米文学語学・言語学講座英語学分野教員応募書類在中」と朱書きしてください。

※ 選考のため面接を行うことがあります。(旅費は応募者の負担となります。)

10 その他

広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において優劣をつけたいと認められた場合は女性を採用します。

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映することを検討しています。

問い合わせ先

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学大学院文学研究科

欧米文学語学・言語学講座 今林 修

TEL 082-424-6682

FAX 082-424-6683

E-mail: imahaya@hiroshima-u.ac.jp

または、

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学文学研究科支援室

TEL 082-424-6604

FAX 082-424-0315

Issue Number: 15-99

1st July, 2015

To Whom It May Concern:

Makoto Katsube (official seal omitted)
Dean of the Graduate School of Letters, Hiroshima University

Recruitment of One Position for an Associate Professor

I hope this letter finds you in good health.

We are now recruiting for one position for an Associate Professor shown below.

Please notify all those concerned.

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 Department: | British, American, and European Languages and Literatures,
and Linguistics; Graduate School of Letters, Hiroshima
University |
| 2 Discipline: | English Language |
| 3 Title and Positions Available: | Associate Professor; one position |
| 4 Courses to be Taught: | (Graduate School)
[Seminar on Middle English Verse and Prose],
[Special Lecture on English Linguistics], etc.
(Faculty)
[Seminar in Middle English], [A History of the
English Language], etc.
(Liberal arts education)
[World of Language and Literature] etc. |
| 5 Starting Date: | 1st April, 2016 |
| 6 Qualifications: | (1) Must have completed doctoral degree or equivalent
academic attainment, and must have published at least one
academic publication (sole author) or at least ten research
papers.
(2) Teaching experience in a university graduate school is
desired (teaching experience must be clearly stated on the
curriculum vitae).
(3) At least one year of overseas study is desired for
applicants who are native speakers of Japanese. |

Applicants who are non-native speakers of Japanese must have the level of Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their responsibilities and administrative duties effectively.

7 Application Materials:

(1) Curriculum vitae: One copy (including degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions/societies, address, email address, etc.)

(2) List of publications: One copy (refer to the below URL for format)

http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html

(3) Originals or copies of five publications considered most relevant to position applied for: One original/copy of each (Each publication must include a summary of around 400 in Japanese characters. During the screening process, you may be requested to provide additional material).

(4) A plan for future research or teaching based on your research results or teaching experience to date (around 2,000 characters in Japanese)

*The above materials will be returned once the screening process is complete. Personal information obtained from the application materials will only be used for the purpose of screening candidates and administrative processes (personnel affairs etc.) following recruitment. They will not be used or supplied to third parties for any other purpose.

8 Deadline:

Applications must arrive no later than
Friday, 28th August, 2015

9 Where to Send:

Makoto Katsube, Dean of the Graduate School of Letters,
Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

- Send the required materials by registered mail. Write on the envelope in red ink, "Associate Professor for British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistic (English Language) Application Enclosed".
- You may be requested to come for an interview (in such an event, you will be required to pay travel expenses).

10 Others:

Hiroshima University promotes a gender-equal society.

In accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society, our university will hire a female applicant rather than a male applicant when the achievements (including research achievements, academic achievements, societal contribution, etc.) and character of both applicants are considered equal.

Hiroshima University conducts evaluations of lecturers' performance since recruitment, converts the results of such evaluations into scores, and assesses their salary in view of on such scores.

Inquiries

Prof. Osamu Imahayashi
Graduate School of Letters, Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522
TEL 082-424-6682
FAX 082-424-6683
E-mail: imahaya@hiroshima-u.ac.jp

Academic Office, Graduate School of Letters, Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522
TEL 082-424-6604
FAX 082-424-0315

広大文支第 15-118 号
平成 27 年 7 月 1 日

関係各機関長 殿

広島大学大学院文学研究科長
勝部 真人 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、本研究科では、下記の要領で教員の公募を行うことになりました。
つきましては、関係者にお知らせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 所属講座 広島大学大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座
- 2 専門分野 フランス文学語学分野
- 3 職名及び人員 准教授 1 名
- 4 担当予定授業科目 (大学院)
「フランス語表現法演習」、「フランス文化論演習」ほか
(学部)
「フランス語会話」、「フランス文化論演習」ほか
(教養教育)
「インテンシブ・フランス語」、「アドバンスト・フランス語」
ほか
- 5 採用予定年月日 平成 28 年 4 月 1 日
- 6 任期 3 年とし、再任を可とする。再任の際には、担当する職務に関して教育・研究業績評価を行い、その結果を基に可否を決定する。
- 7 応募資格 (1) フランス語を母語とし、博士の学位または博士の学位と同等の学力を有し、著書 (単著) 1 冊以上または論文 10 編以上の研究業績を有する者
(2) フランス語またはフランス文学に関する教育経験実績を有する者 (応募用履歴書に教育経験の履歴を明記すること)
(3) 業務遂行に必要な日本語運用能力を持つことが望ましい。
- 8 応募書類 (1) 履歴書 1 通 (学歴・職歴・所属学会・住所・E-mail アドレ

ス等を明記のこと)

(2)研究業績一覧 1部 (様式は次の URL を参照のこと)

http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html

(3)主な研究業績 5編の実物またはコピー 各1部

(それぞれ 400 字程度の日本語要旨、もしくは 1600 字程度のフランス語要旨を添付すること。なお、審査の過程でほかの業績の提出を求めることがある。)

(4)これまでの研究・教育実績に基づく今後の研究計画・教育方針
(日本語で 2000 字程度、フランス語の場合は 8000 字程度)

※ 上記書類は審査終了後に返却します。応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用または提供することはありません。

9 応募締切日

平成 27 年 10 月 30 日 (金) 必着

10 書類提出先

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学大学院文学研究科長 勝部 真人 宛

※ 提出書類は書留郵便で郵送してください。その際、封筒の表に「欧米文学語学・言語学講座フランス文学語学分野教員応募書類在中」と朱書きしてください。

※ 選考のため面接を行うことがあります。(旅費は応募者の負担となります。)

11 その他

広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において優劣をつけがたいと認められた場合は女性を採用します。

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映することを検討しています。

問い合わせ先

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学大学院文学研究科

欧米文学語学・言語学講座 宮川朗子

TEL 082-424-6692

E-mail: akikomiy@hiroshima-u.ac.jp

または、

〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号

広島大学文学研究科支援室

TEL 082-424-6604

FAX 082-424-0315

Issue Number: 15-118

1st July, 2015

To Whom It May Concern:

Makoto Katsube (official seal omitted)
Dean of the Graduate School of Letters, Hiroshima University

Recruitment of One Position for an Associate Professor

I hope this letter finds you in good health.

We are now recruiting for one position for an Associate Professor shown below.

Please notify all those concerned.

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 Department: | British, American, and European Languages and Literatures,
and Linguistics; Graduate School of Letters, Hiroshima
University |
| 2 Discipline: | French Language and Literature |
| 3 Title and Positions Available: | Associate Professor; one position |
| 4 Courses to be Taught: | (Graduate School)
[Seminar in French Expression],
[Seminar in French Civilization], etc.
(Faculty)
[French Conversation],
[Seminar in French Civilization], etc.
(Liberal arts education)
[Intensive French]
[Advanced French], etc. |
| 5 Starting Date: | 1st April, 2016 |
| 6 Term: | Three years with the possibility of reappointment, which will
be decided based upon the results of a review of your
instructional and research performance in your area of
responsibility. |

7 Qualifications:

- (1) Native speaker of French and possession of either a Ph.D. or equivalent academic attainment with either at least one published book (single author) or at least ten articles.
- (2) Must have experience in teaching the French language or French literature (clearly state your teaching experience on your C.V.)
- (3) Some proficiency in the Japanese language to perform duties is preferable.

8 Application Materials:

- (1) Curriculum vitae: One copy (including degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions/societies, address, email address, etc.)
- (2) List of publications: One copy (refer to the below URL for format)

http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html

- (3) Originals or copies of five publications considered most relevant to position applied for: One original/copy of each (Each publication must include a 400-character summary in Japanese or 1,600-word summary in French. During the screening process, you may be requested to provide additional material).

- (4) Future research plans/instructional principles based upon research and instruction to date (2,000 characters in Japanese or 8,000 words in French)

*The above materials will be returned once the screening process is complete. Personal information obtained from the application materials will only be used for the purpose of screening candidates and administrative processes (personnel affairs etc.) following recruitment. They will not be used or supplied to third parties for any other purpose.

9 Deadline:

Applications must arrive no later than
Friday, 30th October, 2015

10 Where to Send:

Makoto Katsube, Dean of the Graduate School of Letters,
Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

- Send the required materials by registered mail. Write on the envelope in red ink, "Associate Professor for British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistic (French Language and Literature) Application Enclosed".
- You may be requested to come for an interview (in such an event, you will be required to pay travel expenses).

11 Others:

Hiroshima University promotes a gender-equal society. In accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society, our university will hire a female applicant rather than a male applicant when the achievements (including research achievements, academic achievements, societal contribution, etc.) and character of both applicants are considered equal.

Hiroshima University conducts evaluations of lecturers' performance since recruitment, converts the results of such evaluations into scores, and assesses their salary in view of on such scores.

Inquiries

Prof. Akiko Miyagawa

Graduate School of Letters, Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

TEL 082-424-6692

E-mail: akikomiy@hiroshima-u.ac.jp

Academic Office, Graduate School of Letters,

Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

TEL 082-424-6604

FAX 082-424-0315

1 juillet 2015
Faculté des Lettres
Université de Hiroshima

Appel à candidature

La Faculté des lettres de l'Université de Hiroshima recrute un maître de conférences spécialisé dans le domaine de la langue ou de la littérature françaises. Tout(e) candidat(e) qualifié(e) est invité(e) à postuler.

1. Département : Langues et Littératures anglaises, américaines, européennes et Linguistique
2. Champ de recherche : langue et littérature françaises
3. Poste : maître de conférences
4. Charge d'enseignement (Sous réserve de modification) :
 - (cours de maîtrise)
 - Expression écrite et orale, Culture française
 - (2-4^e années)
 - Conversation française, Culture française
 - (matières d'enseignement général)
 - Français intensif, Français pour étudiants avancés
5. Début du contrat : 1^{er} avril, 2016
6. Terme de recrutement : 3 ans. Renouvelable après évaluation des résultats.
7. Qualifications
 - (1) Candidate ou candidat de langue maternelle française, titulaire d'un doctorat (Ph. D.) ou qualification équivalente, ayant publié au moins 1 livre (non à titre de co-auteur) ou 10 articles minimum.
 - (2) Expérience de l'enseignement du français ou de la littérature française à

l'Université (À préciser dans le Curriculum Vitæ : formulaire à télécharger dans le site suivant : http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html)

(3) Haut niveau de maîtrise du japonais grandement souhaitable

8. Pièces à fournir

- (1) Curriculum Vitæ (cursus scolaire, expérience professionnelle, sociétés dont vous êtes membre, adresse légale, adresse électronique)
- (2) Liste des travaux universitaires ; formulaire à télécharger dans le site suivant : http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html
- (3) Original ou copie des 5 principaux travaux (livres ou articles, fournir pour chacun d'eux un résumé de 400 mots en japonais ou de 1600 signes en français. Le cas échéant, la présentation d'autres travaux universitaires pourra également être requise.)
- (4) Projet de recherches et déclaration écrite de votre vision de l'enseignement (2000 mots en japonais ou 8000 signes en français)

※Les pièces ci-dessus mentionnées seront retournées une fois accomplies les procédures de sélection. Les informations personnelles contenues dans le dossier de candidature seront exclusivement utilisées pour le recrutement des candidats et les formalités administratives qui s'en suivent. Elles ne seront en aucun cas utilisées à d'autres fins ni communiquées à un tiers.

9. Date limite du dépôt de dossier de candidature : 30 octobre 2015.

10. Adresse : Professeur Makoto KATSUBE, Graduate School of Letters,
Hiroshima University
Kagamiyama 1-2-3, Higashi-Hiroshima, 739-8522

※Prière d'envoyer votre dossier sous pli recommandé et d'indiquer clairement en rouge sur l'enveloppe que vous postulez pour le poste de « maître de conférences au département de Langues et Littératures anglaises, américaines, européennes et Linguistique (langue et littérature françaises) »

※Il sera demandé aux candidat(e)s de venir à leurs propres frais, à l'Université de Hiroshima pour un entretien.

11. Autres : Conformément à la loi cadre pour une société de participation conjointe des hommes et des femmes (*Danjo kyôdô sankaku shakai kihonhô*), l'Université de Hiroshima s'est engagée à promouvoir l'égalité des sexes. En conséquence, au cas où seraient évalués à égalité le dossier d'un candidat et celui d'une candidate, c'est cette dernière qui sera retenue pour le poste proposé.

La rémunération est tributaire de l'indice d'évaluation globale de l'enseignant(e) auquel procède l'Université de Hiroshima après recrutement.

Contact :

Professeur Akiko MIYAGAWA, Département de Langue et Littérature anglaises, américains, européennes et de Linguistique, Faculté des Lettres, Université de Hiroshima, Kagamiyama 1-2-3, Higashi-Hiroshima, 739-8522

tél : (81)82-424-6692

E-mail: akikomiy@hiroshima-u.ac.jp

ou

Academic Office, Graduate School of Letters, Hiroshima University
Kagamiyama 1-2-3, Higashi-Hiroshima, 739-8522

tél : (81)82-424-6604

fax : (81)82-424-0315